



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社

コード番号 7218 URL <http://www.tanasei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長岡 隆

問合せ先責任者 (役職名) 営業企画部事業企画ブロック (氏名) 沖 健司 TEL 076-451-7651  
ブロックリーダー

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,353	△12.1	1,003	81.8	854	87.6	1,335	—
27年3月期第3四半期	35,653	△9.1	551	△58.8	455	△62.0	△880	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 665百万円 (△38.5%) 27年3月期第3四半期 1,080百万円 (△49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	136.80	—
27年3月期第3四半期	△90.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	49,715	21,264	32.0	1,629.36
27年3月期	50,813	20,922	30.3	1,576.25

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,903百万円 27年3月期 15,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	4.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	△8.8	2,100	101.5	2,000	137.4	2,000	—	204.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正提示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,763,600株	27年3月期	9,763,600株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,853株	27年3月期	2,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	9,760,747株	27年3月期3Q	9,760,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、主要取引先である自動車業界において、日本では、消費税及び軽自動車税の増税により市場が縮小し、アセアンでは主要国の販売が低迷しております。しかしながら、米国ではSUVセグメントの人気の継続しており、全体として堅調に推移いたしました。

このような状況にあつて当社グループにおいては、“5極体制の総合力を活かし新価値を創造する”を経営方針に掲げ、「既存技術の深掘り」、「新製品・新事業の創出」、「真のグローバル化の追求」を目指し、重点施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高につきましては、米国では一部製品の生産が終了し、日本では当社主力製品の減少及び自動車販売事業における販売減少等により、31,353百万円（前年同期比12.1%減）となりました。損益につきましては、事業再編及び合理化施策による経費圧縮効果により、営業利益1,003百万円（前年同期比81.8%増）、経常利益854百万円（前年同期比87.6%増）となり、顧客からの補償金の受取りにより、親会社株主に帰属する四半期純利益1,335百万円（前年同期は880百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

売上高につきましては、自動車部品製造事業での当社主要顧客の生産減少及び商社経由取引の連結消去増、また、自動車販売事業での消費税及び軽自動車税増税による自動車販売の減少により、11,345百万円（前年同期比15.6%減）となりました。損益につきましては、減収影響はありましたものの、様々な合理化施策に取り組み、93百万円のセグメント利益（前年同期は64百万円のセグメント損失）となりました。

## ② 米国

売上高につきましては、足回り部品の生産終了による減収により、14,061百万円（前年同期比13.9%減）となり、損益につきましては、経費圧縮効果等はありませんものの、減収影響により908百万円のセグメント利益（前年同期比27.2%減）となりました。

## ③ タイ

売上高につきましては、アセアン地域の景気減速に伴い、2輪製品の生産が減少し、5,348百万円（前年同期比3.9%減）となり、損益につきましては、合理化による経費圧縮効果等により425百万円のセグメント利益（前年同期比71.0%増）となりました。

## ④ インド

売上高につきましては、174百万円（前年同期比32.3%減）となり、損益につきましては、前期の減損に伴う減価償却費の減少により179百万円のセグメント損失（前年同期は539百万円のセグメント損失）となりました。

## ⑤ ベトナム

売上高につきましては、海外向け製品の輸出が開始されたことにより422百万円（前年同期比780.6%増）となり、損益につきましては、増収効果はありましたものの、当期量産が開始される製品の立上げ費用の増加により190百万円のセグメント損失（前年同期は239百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少並びに機械装置及び運搬具の減少により、前年連結会計年度末に比べ1,098百万円減少し、49,715百万円となりました。負債の部では、有利子負債の減少等により1,440百万円減少し、28,450百万円となりました。なお、純資産の部では、利益剰余金の増加等により341百万円増加し、21,264百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年12月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,681,244	5,394,003
受取手形及び売掛金	6,476,192	5,151,774
商品及び製品	2,344,189	2,300,976
仕掛品	1,643,072	1,788,933
原材料及び貯蔵品	3,259,297	3,422,944
その他	602,049	2,559,086
流動資産合計	19,006,046	20,617,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,837,022	7,121,041
機械装置及び運搬具(純額)	15,823,851	13,184,544
土地	2,554,214	2,522,541
その他(純額)	1,703,257	1,950,256
有形固定資産合計	26,918,346	24,778,383
無形固定資産		
その他	168,186	160,788
無形固定資産合計	168,186	160,788
投資その他の資産		
投資有価証券	3,773,759	3,704,874
その他	965,398	471,527
貸倒引当金	△18,200	△18,200
投資その他の資産合計	4,720,957	4,158,202
固定資産合計	31,807,490	29,097,374
資産合計	50,813,536	49,715,093

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,636,356	2,678,285
短期借入金	6,064,339	6,572,813
1年内返済予定の長期借入金	4,158,708	4,617,684
未払法人税等	186,908	494,229
その他	4,502,046	4,648,991
流動負債合計	17,548,359	19,012,004
固定負債		
長期借入金	8,395,943	6,451,329
退職給付に係る負債	538,635	143,762
資産除去債務	46,083	46,254
その他	3,361,549	2,797,200
固定負債合計	12,342,212	9,438,546
負債合計	29,890,571	28,450,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	10,713,242	11,950,872
自己株式	△2,666	△2,666
株主資本合計	11,534,999	12,772,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,580,438	1,510,079
為替換算調整勘定	2,224,484	1,819,872
退職給付に係る調整累計額	45,481	△198,826
その他の包括利益累計額合計	3,850,404	3,131,124
非支配株主持分	5,537,560	5,360,787
純資産合計	20,922,964	21,264,542
負債純資産合計	50,813,536	49,715,093

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	35,653,590	31,353,665
売上原価	30,917,945	26,332,624
売上総利益	4,735,644	5,021,041
販売費及び一般管理費	4,183,669	4,017,362
営業利益	551,975	1,003,678
営業外収益		
受取利息	2,840	9,616
受取配当金	51,280	53,113
為替差益	22,881	9,877
スクラップ収入	119,287	52,339
その他	42,017	33,531
営業外収益合計	238,306	158,478
営業外費用		
支払利息	330,413	303,192
その他	4,295	4,432
営業外費用合計	334,709	307,624
経常利益	455,573	854,532
特別利益		
固定資産売却益	37,041	63,460
受取補償金	—	1,531,700
貸倒引当金戻入額	1,299	—
特別利益合計	38,341	1,595,160
特別損失		
固定資産売却損	256,309	15,743
固定資産除却損	35,639	65,336
投資有価証券評価損	456	—
たな卸資産評価損	62,402	—
リース解約損	—	22,964
特別損失合計	354,808	104,044
税金等調整前四半期純利益	139,106	2,345,647
法人税等	706,613	651,005
過年度法人税等	—	100,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△567,507	1,594,346
非支配株主に帰属する四半期純利益	312,731	259,108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△880,239	1,335,237



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△567,507	1,594,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,023	△70,187
為替換算調整勘定	1,660,788	△619,442
退職給付に係る調整額	△67,532	△239,651
その他の包括利益合計	1,648,279	△929,280
四半期包括利益	1,080,772	665,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,662	615,957
非支配株主に係る四半期包括利益	833,109	49,108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	インド	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	13,444,428	16,337,880	5,564,858	258,413	48,007	35,653,590	—	35,653,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,706,117	—	87,085	—	—	2,793,203	△2,793,203	—
計	16,150,546	16,337,880	5,651,944	258,413	48,007	38,446,793	△2,793,203	35,653,590
セグメント利益又は 損失(△)	△64,986	1,247,170	248,686	△539,027	△239,644	652,198	△100,222	551,975

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	652,198
セグメント間取引消去	33,954
棚卸資産の未実現利益の調整額	△134,202
有形固定資産の未実現利益の調整額	26
四半期連結損益計算書の営業利益	551,975

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	インド	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	11,345,143	14,061,955	5,348,930	174,896	422,739	31,353,665	—	31,353,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,565,742	—	29,116	—	39,651	3,634,509	△3,634,509	—
計	14,910,885	14,061,955	5,378,046	174,896	462,390	34,988,175	△3,634,509	31,353,665
セグメント利益又は 損失(△)	93,560	908,067	425,227	△179,869	△190,928	1,056,057	△52,379	1,003,678

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,056,057
セグメント間取引消去	△37,173
棚卸資産の未実現利益の調整額	△35,237
有形固定資産の未実現利益の調整額	20,031
四半期連結損益計算書の営業利益	1,003,678

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。